

Mina-Meeting

南区意見交換会「みなミ〜ティング」報告書



主催：南区連合町内会長連絡協議会・南区役所地域振興課

南区意見交換会『みなミ～ティング』について

新型コロナウイルス感染症の影響で、各地区がこれまで行ってきた地域活動が思うようにできない今だからこそ、地域のつながりや元気な地域づくりが重要です。

そこで、『コロナ禍における自治会町内会活動の状況と今後について』をテーマに、地域の代表者と区役所がそれぞれの立場で「今、私たちにできること」を考え、新しい生活様式を踏まえた地域活動の実践について意見交換会を開催しました。

みなミ～ティングを終えて

こんにちは。南区連合町内会長連絡協議会会長の吉井肇でございます。

南区では、各地区で長年大切にしてきたお祭りや地域の親睦を深めるための様々な行事が行われています。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、こうした行事の中止や延期が余儀なくされましたが、地域の皆様より「夏祭りがなくなって残念」「楽しみにしていた行事が中止になり寂しい」などのお声が多く聞かれました。

今回の「みなミ～ティング」では、それぞれの地区が今後の地域活動再開に向け考える良い機会になったと思います。私も、地域の皆様と知恵を出し合いながら、コロナに負けない、あったかいまちづくりのために一歩ずつ動き出したいと思っております。

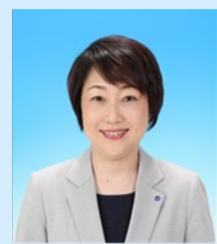


こんにちは。南区長の松山弘子でございます。

日頃、地域のつながりや交流を大切にされている皆様にとって新型コロナウイルス感染症により受けた影響は、大変大きいと思います。しかし、こんな時だからこそ、地域の絆でこの難局を乗り越えていただきたいと思います。みなミ～ティングを開催いたしました。

今回御参加された皆様の、活動再開に向けた前向きな姿勢や地域への熱い想いに感銘を受けました。これを機に、南区の地域活動が少しずつ再開し、さらに地域のつながりが深まりますようお願いしております。

また、区役所としましても地域の皆様と一緒に、よりよい地域づくりを進めてまいります。



実施概要

1 日時

- (1) 南永田山王台・六ツ川大池・永田みなみ台・北永田地区
9月12日（土）10：30～11：45
- (2) 太田・太田東部・寿東部地区
9月12日（土）13：30～14：45
- (3) 六ツ川・本大岡・大岡・別所地区
9月26日（土）13：30～14：45
- (4) 中村・蒔田・堀ノ内睦町・井土ケ谷・お三の宮地区
9月27日（日）10：30～11：45

2 会場

区役所7階会議室（701～703会議室）

3 対象・参加者数

各連合の連長など代表者 1地区につき2～6名（16地区 計62名）

4 主催

南区連合町内会長連絡協議会・南区役所地域振興課

5 テーマ

コロナ禍における自治会町内会活動の状況と今後について

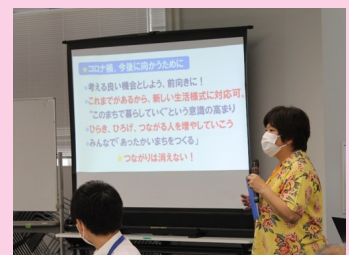
みなミ～ティングの進め方

地区ごとに、地域で取り組んでいる様々な活動の中から、「これから始まりそうな活動」「すでに始まっている活動」などを1つ選び、ワークシートを用いて、新しい生活様式を踏まえながら地域活動を進めていくための工夫やアイデア等を出し合いました。また、グループで話し合った内容を発表し、情報共有を行いました。

※各地区が選定したテーマについては、グループワークを進める上で取り上げたものであり、参加者が地域イベントの方針や運営について決定したものではありません。

全体の進行役としてファシリテーターを活用！

みなミ～ティングの進行を円滑に進めるため、特定NPO法人夢・コミュニティ・ネットワークの事務局長 時任 和子 氏にお願いしました。



みなミ～ティング開催の様子

グループワーク



活動再開に向けたアイデアや、今後できたらいいなと思うことを出し合いました！

話し合いに使用したワークシート

😊	地域活動点検シート (例)	_____ 地区
活動名	高齢者向けサロン	
点検 (現状)	<p>*新しい生活様式を踏まえて取り組んでいるか</p> <ul style="list-style-type: none"> •人が多く集まらないよう、2回に分けて実施。 •消毒薬の準備、マスクを配布。 <p>*その他、今までの活動にプラスしたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> •良事ができない代わりに、参加者へお弁当を渡すことにした。 	
結果	<ul style="list-style-type: none"> •地域の幅広い人たちに参加してもらえなくなってしまった。 •やり方や人数制限をしたことで、感染防止対策は出来た。 	
アイデア工夫	<p>*「あったらいいな」や「できたらいいな」など</p> <ul style="list-style-type: none"> •もっと広い会場があったらいいな。 •スタッフが手分けして、参加者の自宅に訪問できるといいな。 	

選んだ活動について、このワークシートを基に話し合いを進めました！

発表



各地区から発表された取組やアイデアは、他地区にも参考になったようです♪

参加者（連長）からひとこと



みなミ～ティングの感想や、地域活動への想いなどをお聞かせいただきました！

ファシリテーターからエール



会の最後に、ファシリテーターからエールが贈られました♪

グループでの主な発言内容

グループワークでは、地区ごとに話し合う活動（テーマ）を選び、コロナ禍での現状や、取組の結果、今後に向けてのアイデアや工夫などを話し合いました。

16地区の発言内容についてまとめました。

南永田山王台地区

テーマ 防災訓練

新しい生活様式を取り入れた防災訓練を実施していきたいね。

例年の訓練に加え、今年は感染症対策を行いながらの訓練のあり方を考える必要があるね。

非接触型体温計や、トランシーバーを活用した訓練を取り入れていこう。

この訓練が、新しい生活様式を取り入れた地域活動の第一歩となるといいな。

連合の訓練を機に、各町内会の組織作りにも一層力を入れていきたいね。

南永田山王台地区では、毎年連合で防災訓練を実施しています。今年は、コロナ禍で災害が起きた場合を想定し、新しい生活様式を踏まえた訓練の導入が必要なのは、という意見が出ました。また、この訓練を地域活動再開の第一歩と捉え、新型コロナウイルスに打ち勝っていこう！という声があがりました。

六ツ川大池地区では、毎年連合で防災訓練を実施しています。今年は、はまっこトイレの取り扱いや設備の点検など、人数を絞って訓練を実施する予定です。さらに、今後に向けての防災用品の見直しや啓発活動ができないかなど様々なアイデアが出されました。

六ツ川大池地区

テーマ 防災訓練

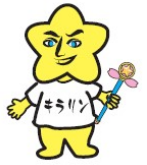
今年はみんなで集まらないから、役員のみが集まった話し合いや、人数を絞って訓練・点検を行おう。

防災用品の見直しを行い、今のうちに買えるものは買っておきたいね。

いつもの訓練ができなくても、防災への理解が深められるよう啓発していきたいね。

避難行動などを含めた事前対策をしっかりとっていききたいな。

各町内にある町内会館を避難所として活用できたらいいね。



永田みなみ台地区

テーマ サロンほっとサライの活動

コロナの感染拡大に伴い、サロン内で食事をすることが難しい時期もあったね。

テイクアウトを始めたら、80食ほど売れたね。手作りマスクの販売も好評だったよね。

現在は、テラス席を設けたり、換気に関心しながら運営ができていますね。

今までできていた活動も早く再開できるといいな。

食事だけではなく、困った時に立ち寄りたり相談したりすることができる場となってきているね。

一人暮らしの見守りも継続していこう。

永田みなみ台地区では、地域の交流拠点になるよう、サロンほっとサライを開設し、食事の提供などを行っています。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、テイクアウトの実施や、テラス席を設けた運営など、3密を避ける工夫を取り入れています。

また、一人住まいの高齢者が体調を崩した際に相談に来てくれるなど、ほっとサライが住民の拠り所として認識されてきているとの意見がありました。

北永田地区では、小学校の終業式に合わせ交通安全キャンペーンを開催しています。今年も、12月末の開催に向けて感染拡大防止対策を講じながら、子ども達の安全を守る方法について話し合いました。

北永田地区

テーマ 交通安全キャンペーン

コロナに関係なく交通事故は起きるので、何もしないわけにはいかないね。

警察にも協力してもらい、一緒に街頭に立ちってもらうことで、声を出さなくても啓発になりそう。

感染防止のため、今回は啓発物品の配布は無しにする代わりに、プラカードが目立たせたいね。

目立つプラカードを行政や警察から地域に配布してくれるといいな。

キャンペーン参加者には、お土産を用意したいよね。

今後、若い人も巻き込むために、教育も必要だね。

太田地区

テーマ 防災訓練 (消火訓練)

地域防災拠点の訓練となると、地区内に拠点が4か所ある上、他の連合とも重なってしまうね。

各拠点や連合で考え方が違うので、一度、太田地区だけの訓練を実施できたらいいな。

Y校など広い場所を貸してもらえたらいいな。

そのためには、日頃から学校と良い関係を築いておかないとね。

今のうちに備品などを確認し、補助金で買えそうな物を買っておきたいね。

太田地区では、例年のように多くの人が集まる地域防災拠点訓練ではなく、近隣の学校など広い場所を借りて、地区だけの小規模な防災訓練を実施してはどうか、といった開催方法の工夫についてアイデアが出されました。

太田東部地区では、毎年連合で防災訓練を実施しています。今年度は、役員で備蓄品の確認などを行う予定です。

地域全体で集まることができない中でも、まずは役員で集まり発災時の動き方や役割分担について話し合っておこうとの意見がありました。

太田東部地区

テーマ 防災訓練

みんなで集まることはできないけど、防災の知識は浸透させていきたいね。

役員だけなら集まれるから、備蓄の確認をしよう。

いざという時にどうすればよいか、動き方を確認しておこう。

よく話し合っって今のうちに役割分担など、決めておけたらいいな。

この機会に、もっと効果的な訓練にできないか考えていきたいね。

寿東部地区

テーマ

防災訓練

今年は、倉庫のカギの保有者や、体育館の灯りの付け方などを確認しておこう。

一緒に、防災無線の使い方も確認しておきたいな。

各自治会町内会のいっとき避難場所も確認したいね。

災害時、家が無事なら、むやみに避難せず、自宅で過ごしてもらうことも有効なことも理解してもらえるといいな。

寿東部地区では、毎年秋に南吉田小学校で地域防災拠点訓練を実施しています。

例年、運営委員や役員の方々が多く参加してくれるため、細かな確認がなくても滞りなく実施できているが、コロナ禍である今だからこそ、普段できない確認や、役割分担をしっかり行い、少人数でも対応できるようにしておくことが大切だという意見が出ました。



六ツ川地区では、毎年多くの方が楽しみにしているふれあい祭りを中止しました。

しかし、コロナ禍においてもどんな工夫をしたら開催できるか、どうしたらみんなが楽しめるかという観点で開催方法を検討し、「できない理由をつぶそう」という意見が出ました。

六ツ川地区

テーマ

ふれあい祭り

今年は中止になったけど、毎年多くの方が待ち望んでいるバザーは、どうやったらできそうかな。

バザーに出す寄付品等のクリーニング（消毒）が大変だよな。

開催する場合は、入場制限など最大限の配慮をしないとね。

スタンプラリーのような形式を取り入れて、会場を分散してもいいかも。

本大岡地区

テーマ みかん狩り

毎年、参加者が多いから分散させよう。

例えば、開催日を4日間くらい設けたらどうだろう。

1回あたりの参加者は減る分、参加者同士のコミュニケーションがとりやすくなるかもね。

感染症対策として、連合でも消毒液やマスクを用意しないとね。

イベントの写真を地区社協だよりに掲載することで、多くの住民に見てもらおうきっかけにもなりそうだね。

本大岡地区では、毎年秋に連合主催のみかん狩りを開催しています。例年、約400名が参加するイベントを、今年は3～4町内ごと開催することで、人数を分散させるなどのアイデアが出されました。

1回あたりの参加者が減ることにより、盛り上がりには欠けてしまう懸念がある一方で、参加者同士の交流を深めやすくなるといった意見がありました。

大岡地区では、毎年秋に健康福祉まつりを開催しています。地域の核となるイベントであることから、今年もなんとか開催できるよう、会場の変更や感染症対策の徹底といったアイデアが出されました。

また、地区の中心にある大岡公園で開催することにより、今まで参加されたことのない方の参加も期待できるのでないか、といった意見がありました。

大岡地区

テーマ 健康福祉まつり

今年は、小学校から大岡公園に変更して開催しようと思います！

縮小開催で参加者は減ると思うが、会場を変更することで、今まで参加したことがない人が来てくれるかもしれないね。

消毒や、名簿による参加者の把握、検温など、事前の打合せで感染予防対策についてしっかりと検討しているよね。

今後は、子どもたちにも地域のイベントに携わってもらい、工夫しながら一緒に作りあげていけるといいな。

保健師の派遣など、医療的サポートもあつたらいいな。

別所地区

テーマ

ふれあい祭り

「コロナだからできない」ではなく、どうやったら開催できるかアイデアを出し合おう。

密を避けるために、体育館で行っていた演目を、校庭でできたらいいな。

参加者に時間差で来場してもらうのはどうか。

イベントの内容を絞って短時間で行うのもいいね。

焼きいも大会のような、密を避けられる屋外でのイベントもできたらいいな。

別所地区では、毎年ふれあい祭りを開催していますが、今年は中止となりました。

そこで、来年の開催に向けて体育館ではなく、校庭での開催や、時間差で来場、イベント内容を絞って短時間で開催するといった様々なアイデアが出されました。

中村地区

テーマ

連合まつり

参加者の3密対策を徹底して開催したいな。

屋内で行っていたものを屋外にするなど工夫が必要だね。

飲食の提供についても、休憩所のレイアウトの工夫や持ち帰りに変えるなど、検討していかないとね。

できれば、人数制限をせずに実施できるといいな。

開催する際は、住民の方々の意見をしっかりと取り入れていきたいね。

中村地区では、例年3月に連合まつりを開催しています。毎年、多くの来場者が集まるため、3密対策を徹底するにはどのような工夫が必要かを話し合い、様々なアイデアが出されました。来年の開催に向けて、住民の方々の意見を取り入れながら準備をし、ぜひ成功させたいとの意見がありました。

蒔田地区

テーマ 防災訓練

コロナ禍でもいざという時のための対策は必要だから、今でもできることを考えよう。

いつも役員で行っている防災倉庫の点検を今年は運営委員や班長たちと一緒にしようよ。

非常食を住民に配るよ。試食をきっかけに防災に関心を持ってもらえるといいな。

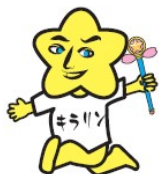
「みなみ防災ガイド」を各町内会に配布しているよ。さらに広く周知して防災の意識づけをしていきたいな。

「みなみ防災ガイド」を活用した勉強会などもできたらいいな。

蒔田地区では、毎年防災訓練を実施しますが、防災倉庫の点検や地域で備蓄している非常食を配るなど、コロナ禍でもできることから実施予定です。

今後、地区全体でさらに防災意識を高めていけるよう、「みなみ防災ガイド」を活用するといった意見がありました。

堀ノ内陸町地区では、地域住民に馴染みのある公園を活用し、映画観賞会を企画しました。数十年前、地域の子どもたちが楽しみにしていた「紙芝居」や「映画会」を今だからこそ復活させ、地域を元気にしていきたいという意見が出ました。



堀ノ内陸町地区

テーマ 陸町公園映画会

屋内でのイベントが難しいため、屋外での映画観賞会を企画してみました。

今回は子ども向けのアニメを放映する予定だよ。

人数制限のため、事前予約制を取り入れ先着50名にしたよ。

子ども会と連携したことで、子ども会の代表者がLINEで周知してくれたんだ。

今回、映画会の評判が良ければ、大人向けも開催したいな。

今後も、異世代交流が出来るイベントの実施を考えていきたいな。

井土ヶ谷地区

テーマ

公園愛護会と保育園児との ふれあい活動

公園愛護会と園児と一緒に花の種を植える活動を行っているね。

園児は保育園で感染防止対策を徹底しているので、町内会の役員も徹底が必要だね。

密にならないように入替制で参加してもらおうようにできないかな。

回数を増やして、参加者を分散できるといいな。

コロナ終息後、地域の絆がさらに深まるように…という観点で活動を進めていきたいね。

井土ヶ谷地区では、公園愛護会と保育園児と一緒に花の種を植える活動を行っています。今後も活動を継続させるため、密を避ける方法として、活動日を増やしたり入替制にすることで、参加者を分散させるなどのアイデアが出されました。

お三の宮地区では、毎年老人会が中心となりクリスマス会を開催しています。

今年は密を避けるために、広い会場に変更してはどうか、という意見が出ました。また、会場を広くすることによってプラスできるプログラム、逆に例年通りできないことをよく考えながら開催に向けて準備しよう、という意見がありました。

お三の宮地区

テーマ

ひと足早いクリスマス会

感染拡大防止策を講じ、工夫しながら開催していきたいね。

吉野町市民プラザなど、広い会場を借りて開催できるといいな。

舞台のある会場で開催することで、コロナ禍で発表の機会がなくなってしまった方が、発表の場を得ることができそうだね。

会費を無料にし、参加しやすい会にしたいな。

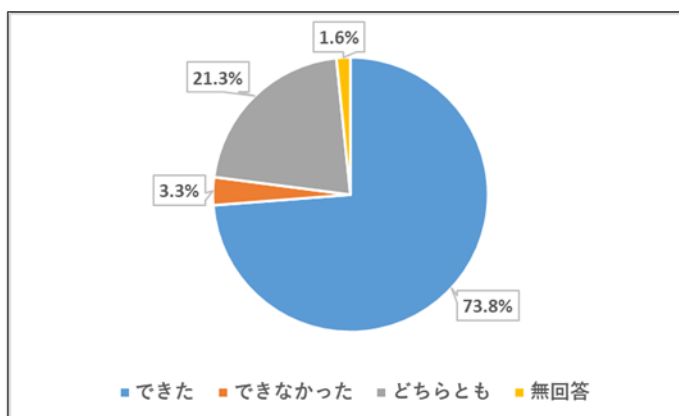
クリスマスらしいプレゼントを用意できたらいいな。

アンケート結果

参加者62名を対象にアンケートを実施し、61名から回答をいただきました。
(回答率98.4%) 結果は、次のとおりです。

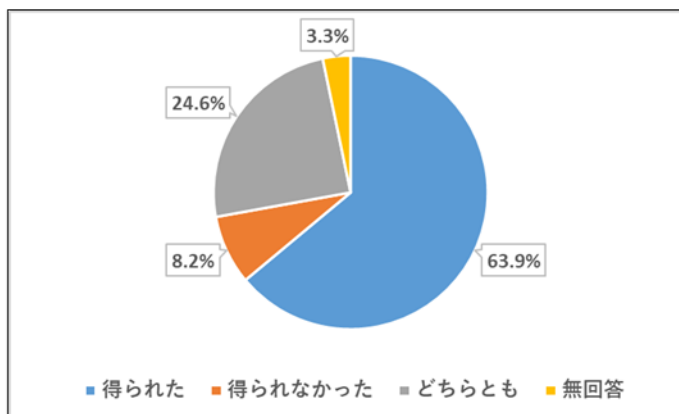
Q1 みなミ〜ティングに参加し、地域の魅力を再確認できたか

	数	%
できた	45	73.8%
できなかった	2	3.3%
どちらとも言えない	13	21.3%
無回答	1	1.6%



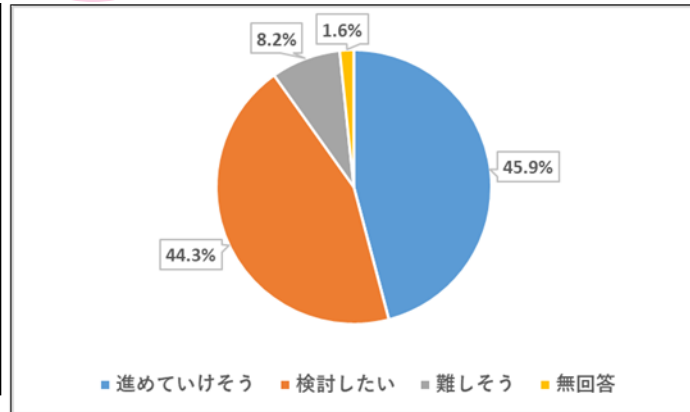
Q2 みなミ〜ティングに参加し、新しい生活様式を取り入れたヒントは得られたか

	数	%
得られた	39	63.9%
得られなかった	5	8.2%
どちらとも言えない	15	24.6%
無回答	2	3.3%



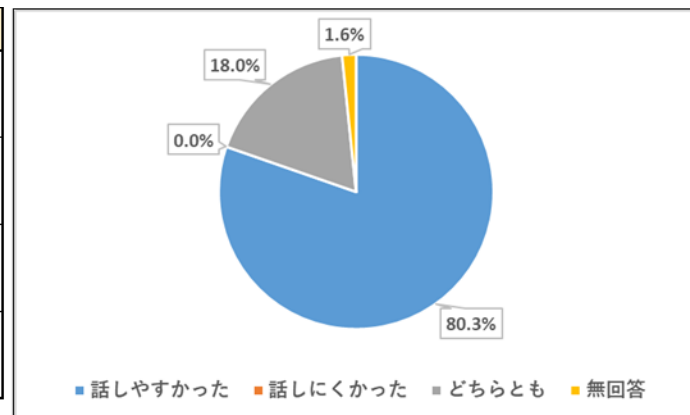
Q3 みなミ〜ティングに参加し、今後コロナ禍でも地域活動を進めていけそうか

	数	%
進めていけそう	28	45.9%
検討したい	27	44.3%
難しそう	5	8.2%
無回答	1	1.6%



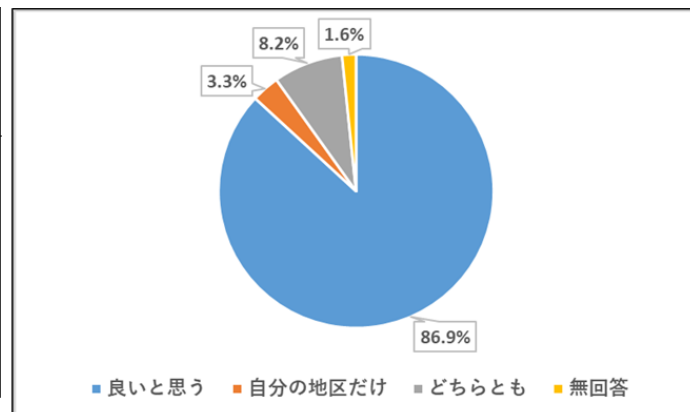
Q4 ファシリテーターを入れた会議は、話しやすかったか

	数	%
話しやすかった	49	80.3%
話しにくかった	0	0.0%
どちらとも言えない	11	18.0%
無回答	1	1.6%



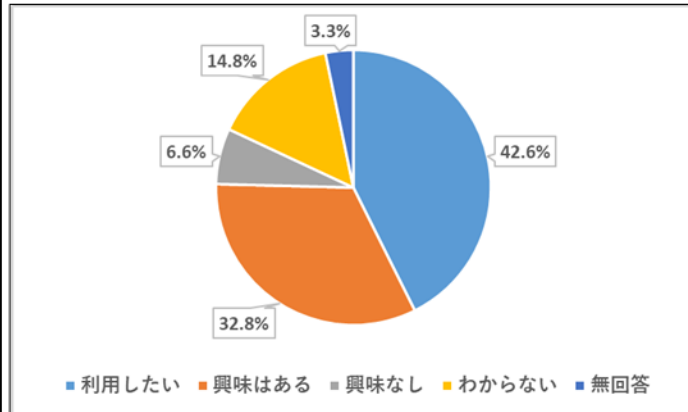
Q5 複数の地区が集まった話し合いについて、どう思ったか

	数	%
良いと思う	53	86.9%
自分の地区だけでよい	2	3.3%
どちらとも言えない	5	8.2%
無回答	1	1.6%



Q6 パソコンやスマートフォンなどを使った顔の見える会話や会議などを、普段の自治会町内会活動などに取り入れてみたいと思うか

	数	%
利用したい	26	42.6%
興味はあるが、使い方が分からない	20	32.8%
興味なし	4	6.6%
わからない	9	14.8%
無回答	2	3.3%



参加者からの声（一部抜粋）

- ・コロナ禍では、従来の活動パターンが通用しませんので、多くの人たちの知恵と力を集めて新しい方向が見つけられたらと思います。
- ・他地区のアイデアや活動内容を知る事ができ参考になりました。コロナの問題だけでなく、災害やサロン活動の方法も考えていきたいです。
- ・「話すこと」は大切だということを確認しました。
- ・他の連合とも話し合いができるとう良かったです。



ファシリテーター(時任和子氏)からひとこと

みなミ〜ティングでは、活発な意見交換ならびに進行にご協力いただき、ありがとうございました。地域性や状況・取組は様々ですが、目指すところは同じで、地域の人々が安心して暮らせる豊かな地域づくり。

グループワークでの「コロナには絶対負けない」「地区の屋台骨のイベントだから、なんとしてもやる」など、地区の個性を大切にしながら、今後どうしていくかを真剣に考える発言に、胸が熱くなりました。

「新しい生活様式」のなか、新しい考え方、これまでと違うやり方も生まれています。この会をきっかけに、地元での検討が深まり、さらに地域づくり、つながりづくりが進むことを応援しています。みんなで、もうひと踏ん張り！



発行：令和2年11月

担当：南区地域振興課地域力推進担当